

所の検疫医官補に転任（五級俸四拾円）の辞令を受けたこと。

②明治三十二年六月二十一日に東京から横浜海港検疫所へ赴任の途についたこと。

が明確に記されている。これにより、先にふれた従来の伝記による「五月着任」は間違いであることが明らかになった。また、野口が長浜検疫所で関わった「亜米利加丸あめりかまるによるペスト騒動」（筆者注、明治三十二年六月二十二日～六月三十日。この「ペスト騒動」については、当時の毎日新聞に石川安次郎視察特派員による詳細な記事がある。なお、このペスト騒動の時期について、先の奥村鶴吉「野口英世」やそれを原典として書かれたほとんど全ての他の伝記では、九月としているが、前述したことからこれは明らかに間違いである）は、従来の着任して約ひと月余り後ではなく、まさに着任した翌日ということになり、長浜検疫所の組織や施設などの全てに不慣れな時の出来事だったことがわかる。さらにまた、野口の検疫所勤務の期間が従来の五ヶ月（五月～九月）ではなく、約三ヶ月（六月二十一日～九月）ということも大きな修正点である。

以上のように、今回、野口英世の横浜海港検疫所への着任の時期が特定されたことにより、いくつかの事項で修正点が生じている。野口の検疫医官補時代の事蹟の再検討が必要である。

（神奈川県大学生物学教室／野口英世細菌検査室保存会）

例会記録

平成十八年四月例会

平成十八年四月月二十二日

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、「窠篤児薬性論」をめぐって

遠藤正道

二、ビデオ鑑賞

漢方医学の歴史一 大陸医方と日本医療の

夜明け

漢方医学の歴史二 西洋医学伝来から現代

の漢方医学

平成十八年六月例会

平成十八年六月二十四日

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、イエスの治療と釈迦の治療

杉田暉道

二、対馬宗家文書に見る産科資料 第一報

酒井シツ